

「スーパー御庭番の達人たち」…②

どう使う？ どう活かす？ ユーザー様のハイレベルな仕事ぶりをレポートし、スーパー御庭番のパワーと活用法をうかがいます。

ノートパソコンでお客様にプレゼンテーション！ 360度好きな角度で見せられるので 説得力があります

「プランが命」だから御庭番は重要な戦力。 施工図面としても使えるのが魅力

それまでOA機器メーカーに勤めていた私が、親父の会社に入社したのは8年前、会社立ち上げから2年目のことでその時に御庭番を導入しました。当社は父と私の2人だけの設計中心の会社です。仕入れと現場管理はしますが、施工はすべて外部の職人と提携して行っています。ですから「プランが命」、御庭番がなくては仕事になりません。現在は、ただ「イメージ」として描くだけなら、1時間もかからずにパース1枚描けてしまいます。ただし私の場合は、その絵が即、施工図面としても使えるように、データを全部入れ込みながら描いているんです。つまり床の高低差や、貼るタイルの厚みなどもきちっと計算して入れていきますから、かなり時間がかかります。たとえばS邸様などは、仕上げるのに17時間ぐらいかかりました。そのかわり、仕上がればもうこれで商品発注から施工指示まですべてできます。そういうことができるのも、御庭番の素晴らしさですね。当社では、御庭番のソフトを入れた専用のノートパソコンを1台用意し、これをお客様のところへ持参し、画面上でプレゼンテーションする…という方法をとっています。こうすると、パースが360度自由な角度で見せられるんです。ですから、「さあ、どうぞ」とお客様にマウスを渡してしまって、自由に触ってもらいます。こうすればお客様は、マウスを操作しながら、ご自分の庭のプランを好きな目線から眺め、検討できるわけです。



群馬県高崎市
有限会社オオシマ様
営業 大高基嘉様

ものすごく喜んで、あれこれ動かしながらご覧になりますね。しかも画面が美しくリアルで、説得力がありますから、決定率が非常に高くなります。

それに、こうすることで、競合した場合のプランの流出を防ぐこともできます。紙で提出していたころは、後でアイデアを流用されてしまうことも結構あり、困っていましたので。

いまでもどんどん改良され 格段に使いやすくなっている御庭番

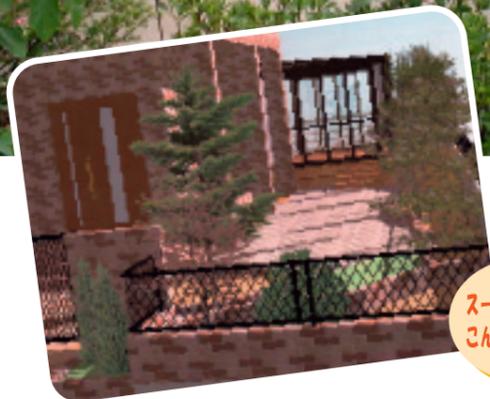
私を使い始めた当時の御庭番は、現在と比べると、まだかなり使いにくかったですね(笑)。自分である程度プランを詰めてから絵を描かないとうまくいかないようなところがありました。しかしその後どんどん改良されましたから、初心者の方や機械は苦手という方でも大丈夫です。また「こういうパーツがほしい」「こういう部分が使いにくい」といった意見を出すとそれを結構反映してくれますので、最近のバージョンは非常に使いやすくなっていると思います。たとえば、以前は描きづらかったアールのついた塀も、今は簡単に描けるようになりましたね。また、植栽が増えてきたのもありがたいです。樹木が充実していると絵の仕上がりがきれいにできて、とくに女性のお客様に好感を持たれるんです。ですから樹木の種類はもっと増やしてほしいですね。



庭の奥にはサンルーム「プレオーレ」を設置。テラコッタタイルの床と階段が、レンガ造りの建物と調和。



駐車場を兼ねたアプローチ。石を部分的に貼ることで、美しさと予算を両立。



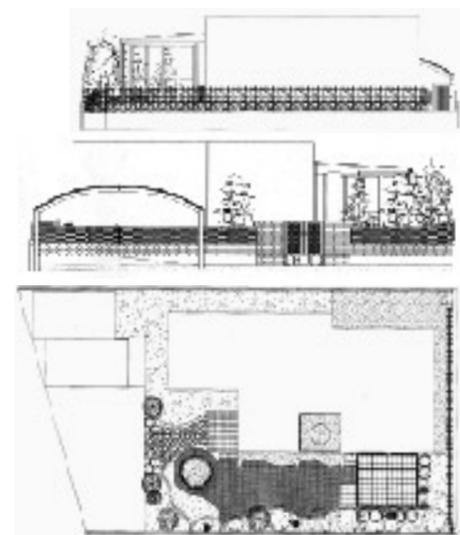
スーパー御庭番は
こんなにリアル！

スーパー御庭番で描いたS様邸のパース。実際の写真と比べると、ほぼ同じイメージに描けています。これだけリアルに提案できれば、お客様にも説得力があるし、仕上がった後の満足度も高いはず

S様邸

建物に合わせ、レンガを中心にした外観 デッキのプラン変更は綿密な打ち合わせで

レンガづくりの建物に合わせて、レンガを多用した外観を希望されたS様邸。「プレオーレ」は通常床が木材のところ、お客様がテラコッタタイルを要望。そこで、プランニングの前にメーカーの担当者やタイルに詳しい職人などと話し合いました。仕様変更してタイルを貼るためには、アルミの柱の何センチ下までコンクリートを打つか…といった細かい施工の問題まで詳しく話を詰め、解決したうえで、プランを描いています。そのため完成度の高い図面になり、施工もスムーズに進みました。



スーパー御庭番で描いた平面図・立面図。きれいな線で正確に描けます

達人のテクニック 1

御庭番のデータをパソコンで見せれば お客様も大喜び！ 商談もスムーズに

大高さんの秘密兵器はノートPC。御庭番のソフトが入ったパソコンをお客様宅へ持っていき、画面でパースをお見せします。「自分の家を立体的にシミュレーションできるので、普通の図面やパースよりもずっとイメージがふくらむようで、お客様に喜ばれますね。話もスムーズに進みます」



スーパー御庭番で描いたS様邸のパース。パソコンの画面であれば、リアルな絵がいろいろな角度から見られ、説得力高し！

達人のテクニック 2

レンガ貼りは段差のあるレンガ1個1個を コピーして位置を決めて描き込んでいく

大高様の「裏ワザ」のひとつ。スーパー御庭番は、総貼りのレンガ塀は簡単に設定できますが、段差のあるレンガが貼られた塀は設定できません。そのため、レンガを1個1個コピーして貼る、という細かい作業をしています。しかも、そのレンガの位置は適当ではなく、後で職人が実際に施工する位置を正確に指示しているのです。「こうしないと、上下のレンガの位置がずれたらおかしいですからね」と大高さん。そのため、1個1個位置を合わせながら描き込まなければならず、根気の要る作業です。「連続した部分はまとめてコピーしたりはしますが、それでも納まりなどを考えながらの作業なので、時間がかかりますね。でも、ここできっちりやってしまえば、施工もこの通りできますから」

